

質問日	令和2年12月2日(水)		質問方式	分割方式			
質問順位	9	会派名	自由民主党浜松	議席番号	6	氏名	神間 郁子
表 題	質 問 内 容					答弁者の職名	
1 ネーミングライツ制度について	<p>令和3年6月開館予定の浜松市市民音楽ホールに関して、ネーミングライツ制度を導入し愛称が決まった。ネーミングライツ料という新たな財源により、よりよい施設運営に取り組むことができる。</p> <p>一方で、制度導入に当たり「愛称」という表現や、愛称案発表後の「意見聴取」についての認識において、必ずしも制度と市民の捉え方が一致していたとは言えない。ネーミングライツ制度導入について以下伺う。</p> <p>(1) 浜松市市民音楽ホールの愛称案について市民意見を募ったが、寄せられた意見に対する考えを伺う。</p> <p>(2) 今回のネーミングライツ制度導入に当たり、「愛称」という言葉に対する認識や、「市民への意見聴取」についての認識が、市民にとって誤解されやすいと考えるが、今後、ネーミングライツガイドラインの更新・変更の考えはないか伺う。</p> <p>(3) 市有財産の活用という意味で、本制度についての市民の理解を得ながら推進すべきと考えるが、今後の市としての方針を伺う。</p>					中村文化振興 担当部長 森本財務部長  〃	
2 アフターコロナ・ウィズコロナにおける市施設のインターネット環境整備について	<p>アフターコロナ・ウィズコロナにおいては、演奏会・展示会などの文化活動の支援のため、ホールなど文化施設にインターネット配信可能な環境を整備し、新しい形での演奏会開催への支援が必要と考える。</p> <p>一方で今後、協働センターなど生涯学習施設やスポーツ施設を含めた、市の施設全般においても、インターネット配信、オンライン会議を見据えた整備が必要と思われる。</p> <p>以上のことから、ホールをはじめ市施設へのインターネット環境整備について、本市の考え及び整備計画を伺う。</p>					朝月デジタル・スマートシティ推進事業本部長	
3 教育現場における人手不足への対策について	<p>9月に行われた第2回はままつ人づくり未来プラン推進委員会において、教科担任制や30人学級制が、今後教員不足により、制度として十分に機能できない可能性について、深刻な課題として提起された。</p> <p>教員のやりがいや魅力を発信し、教員採用試験受験者を増やすことに国も市も対策が求められる。</p> <p>一方で、豊かな経験を持つ定年退職者に、いかに現場に残って活躍してもらうかにも、工夫が必要である。</p> <p>さらに、免許を持った人材掘り起こしのために、免許状更新講習を受けて教育現場に戻ってもらうことも有</p>					花井教育長	

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
<p>4 社会教育と学校教育の連携における地域人材の共有について</p>	<p>効な手段であると考える。</p> <p>教員不足に対する本市の対策として、以下伺う。</p> <p>(1) 定年退職者数の推移、継続勤務の実績、及び定年退職者が継続して勤務するため本市が行っている対策について伺う。</p> <p>(2) 本市の行っている、免許状更新講習の現状を伺う。また、人材掘り起こしにつながる新たな取組について伺う。</p> <p>平成29年に社会教育法が改正され、地域と学校が連携・協働し子供たちの成長を支え、地域を創生する「地域学校協働活動」が全国的に推進されている。本市においても、市民部と教育委員会の連携により、その活動を実施していくとしている。</p> <p>活動の推進には、地域人材の情報をいかに共有し、ニーズに対して活用するかが重要となる。</p> <p>社会教育と学校教育の連携における地域人材の共有について、以下伺う。</p> <p>(1) 「はままつ人づくりネットワークセンター」の活用状況について伺う。</p> <p>(2) 生涯学習講師の人材情報と、はままつ人づくりネットワークセンターの登録講座を一元管理して、社会教育、学校教育に活用できる管理体制にすることへの考えを伺う。</p> <p>(3) 生涯学習人材登録の現状と、地域学校協働活動を推進するための、今後の方針を伺う。</p>	<p>伊熊学校教育 部長</p> <p>〃</p> <p>中村文化振興 担当部長</p>
<p>5 地域公共交通網形成計画について</p>	<p>2010年に策定された浜松市総合交通計画について、今年度は中間年に当たり、総合交通計画の見直し及び地域公共交通網形成計画が策定される。</p> <p>公共交通網形成計画（案）のアクションプログラムのうち、以下について伺う。</p> <p>(1) 交通結節点強化策に位置づけられている以下の施策について伺う。</p> <p>ア 交通結節点について、設定方針や現状捉えている課題及び今後の進め方について伺う。</p> <p>イ パークアンドライド駐車場について、現在の設置状況と今後の展開について伺う。</p> <p>(2) モビリティ・マネジメントの実施に位置づけられている、「企業への働きかけ」として「エコモビ応援隊」の推進とあるが、SDGsにも関連する、エコモビの取組をさらに企業に推進してもらうための今後の展開について伺う。</p>	<p>大村都市整備 部長</p>

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
<p>6 モビリティサービスの連携における今後の展望について</p>	<p>4月にモビリティサービス推進コンソーシアムが設立され、モビリティとサービスの連携により地域課題の解決を目指す取組が行われている。</p> <p>また、浜松版M a a S構想の中間整理が9月に公表され、10月には春野医療M a a Sプロジェクトがスタートした。</p> <p>交通・生活課題の解決と物流やサービスの融合というM a a S構想に大変期待するところであるが、今後の展望について伺う。</p>	<p>朝月デジタル・スマートシティ推進事業本部長</p>